



日本家族看護学会

Japanese Association for Research in Family Nursing

国際交流委員会

*International Exchanges Committee
Newsletter - July, 2020 Vol. 1*

■ 委員長からの挨拶

会員の皆さま、こんにちは！

2020年度は、家族看護学に関連したグローバルな話題を提供するために、ニュースレターをお届けすることにしました。年に1,2回の発行を予定しています。さて、Covid-19感染症拡大防止のために、今年はさまざまな活動が自粛されています。特に海外渡航を伴うお仕事については、思うように活動ができない状況が続いていることと思います。Covid-19の対策として、人と人との接触を厳しく制限する政策が取られていますが、健康問題はさることながら、家族の生活、地域での社会生活などにも多大な影響がおよんでいます。教育の場にいる方は教育を停滞させないように日々工夫をせっせと行っていると思います。臨床の現場にいるかたは、施設を超えたコミュニティに及ぶ相互支援の必要性を日々感じて実践をせっせと行っていると思います。小さなニュースレターですが、皆さまには、爽やかな風をお届けできたらと思っています。

■ 委員会だより

日本家族看護学会 第27回学術集会交流セッション

「国際学会発表のすすめ－家族看護のネットワークを世界に広げよう－」開催のお知らせ

国際学会に参加した際、英語が得意じゃないから…と、躊躇することはありませんか。



今回、国際交流委員会では、学会登録、発表のコツについてのレクチャーと、実際の場面のロールプレイを使った海外の専門家と交流するための簡単なフレーズの紹介など、参加者とのディスカッションを交えた交流セッションを企画しました。これから国際学会で発表しようと考えている方や、もう少し交流ができればと考えている方のご参加をお待ちしています。セミナー形式の参加型セッションですが、日本語でのディスカッションとなります。

英語が苦手！という方も気軽にご参加ください。

■ 世界の車窓から

IFNAのCOVID-19に関する活動

「COVID-19パンデミックと家族看護」と題して、理事長と次期理事長から会員に対してメッセージを發しました¹。病院では面会制限で家族と会えない、また地域においても感染リスクのために家族が別居するなどの状況の中、過去のSARSやエボラ出血熱などの文献検討から、家族は不確実性、スティグマ、不安、孤立などを経験しています。また、自分の家族や友人に感染するかもしれないリスク、防護具の不足による感染の恐れ、将来への不安や偏見などに苦しんでいる看護師に対して、自身の精神的健康状態を保つこと、経験を記録することなどを勧め、思いやり、献身など様々な努力を称賛しています。また、COVID-19に関連した看護のストーリーを募集しています。許可を得て収集し、シェアしていく予定とのこと²。

¹ <https://internationalfamilynursing.org/2020/03/27/covid-19-pandemic-ifna-president-and-ifna-president-elect-offer-a-message-to-members/>

² https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdpSgEvdK9TCg_-E2kKtB4ntG2ZiDNgdSO_cyDFtDs0l77Vfw/viewform

国際交流委員会メンバー：●委員長：池田真理

●委員：荒木暁子、上野里絵、本田順子、山花令子、山本弘江